

科目名称	老年看護学方法論 I	学年学期	単位数	時間数
		2学年前期	1	30
担当教員	栗林 のり子	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

高齢者とその家族およびそれを支える人々、また加齢に伴う心身機能の変化と主な症状から高齢者のアセスメントの特徴を理解し、加齢と健康障害の程度に応じた看護に必要な知識・技術について学ぶ。

【2】 学習目標

1. 高齢者の生活アセスメント方法と特徴を説明できる。
2. 高齢者に特有な症候とその看護について説明できる。
3. 治療を受ける高齢者の看護について説明できる。
4. 高齢者の終末期の看護について説明できる。
5. 高齢者を介護する家族への看護について説明できる。
6. 高齢者とその家族を支援するための他職種との連携・協働 退院計画と退院調整 地域連携について説明できる。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	高齢者の生活を支える看護 高齢者の生活アセスメント コミュニケーション 聴覚障害	講義
2	高齢者の生活を支える看護 歩行・移動 転倒 骨粗鬆症 骨折	講義
3	高齢者の生活を支える看護 食生活・脱水症 低栄養状態	講義
4	高齢者の生活を支える看護 排泄・尿失禁・便秘・下痢 清潔・衣生活	講義
5	高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護 摂食・嚥下障害	講義・演習
6	高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護 廃用症候群・褥瘡	講義・DVD
7	高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護 癢痒症・睡眠障害・活動と休息	講義
8	高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護 視覚障害・感染症	講義・DVD
9	高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護 せん妄・うつ病	講義
10	難病患者の看護 パーキンソン病・パーキンソン症候群 筋萎縮性側索硬化症	講義・DVD
11	治療を受ける高齢者への看護 薬物療法 手術療法 リハビリテーション	講義
12	受療形態に応じた高齢者の看護 入院時、外来診療時、検査時、退院時の看護 地域連携における退院時の看護	講義
13	高齢者の終末期の看護 高齢者の死にかかわる権利の擁護 終末期看護の実践	講義
14	高齢者を介護する家族への看護 介護する家族の生活と健康 介護する家族への看護	講義
15	筆記試験・まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験 90 点及び毎回行う小テスト(10 点満点)の平均点で総合的に評価する

【6】 教科書

系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院

【7】 参考書

系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾病論 医学書院
山田律子:生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図,医学書院
池西静江,石東佳子編:看護学生スタディガイド,照林社

【8】受講生へのメッセージ

A3の1枚の用紙で重要ポイントを主体的に学びます。